

TG-200J



用途

- 機械、鋼構造物、鉄骨柱下の充填材
- 鋼板巻き立ての充填材
- コンクリート構造物の
空隙・欠損部の充填材
- PC版ジョイント部の充填材
- アンカーボルト
アースアンカーの定着材
- コッターセグメントの充填材
- その他土木、建築工事における
各種充填材

特長

- 軽量** 特殊骨材を使用し、従来のモルタルよりも軽量タイプです。
- 高性能** 長期強度は勿論の事、(圧縮・付着強度) 耐久性はセメントを基材としている為、長期にわたって信頼性を保ちます。
- 無収縮性** 浮き水、棚落ち、材料分離等のフリージング現象が有りません。優れた無収縮性でグラウト材として最適です。
- 優れた作業性** 流動性に優れ、充填性が良く、空隙がなく確実に充填できます。コテによる表面仕上げも良好です。
- プレミックス** 既調合モルタルなので、現場での調合の煩わしさや、配合ミスが有りません。水を加え練り混ぜるだけで、楽に手早く作業が完了します。

性能

試験項目	試験結果			
モルタル配合	材料(kg)	水(kg)	水セメント	
	25	6.5	43.7	
フレッシュ試験	JISロート(秒)		モルタル温度(℃)	
	1回目	2回目	1回目	2回目
	7.8	7.6	24	25
フリージング試験	フリージング量(cc)		フリージング率(%)	
	0		0	
膨張収縮試験	材齢7日 膨張率(%)		0.38	
凝結試験時間	始発(h-min)		終結(h-min)	
	7-00		9-30	
圧縮強度試験	試験材齢		圧縮強度(N/mm ²)	
	3日		26.2	
	7日		35.6	
	28日		46.5	
付着強度試験	試験体材齢		付着強度(N/mm ²)	
	28日		3.2	

施工方法

① 下地処理

下地表面の汚れ、レイタンス、水分等を除去してください。

② 材料混練り

容器に所定の水を全量入れミキサーで攪拌しながらLCCモルタルを徐々に投入し全量投入後約3～5分間混練してください。
 ※練り混ぜ水は、不純物を含まない清水を用いてください。
 ※練り混ぜには、ハンドミキサーもしくはモルタルミキサーをご使用ください。



③ 充填施工

注入方法は、自然流し込み、自重圧及びポンプ圧送があります。
 注入方法は、片側から連続的に注入し、反対側から確認する。
 エアーが残らないようにしてください。
 露出表面は、モルタルのしまり具合を見てコテで押さえてください。



④ 養生

3日以上程度必要です。
 水分の蒸発を防ぐために湿布等で覆ってください。



注意事項

- 練り混ぜ完了後は速やかに充填作業を行なってください。
- 保管に際して、高温多湿な場所を避けて冷暗所に保管してください。
- 開封した材料は使いきるようにしてください。
- 本製品は強アルカリ性ですので、粘膜に炎症を起したり、目、鼻、皮膚を刺激することがあるので、作業時には、保護手袋、防塵眼鏡、保護マスク等を必ず着用してください。



富士川建材工業株式会社

■ URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/> ■ e-mail mail@fujikawakenzai.co.jp

本社・工場 / 〒236-0002 横浜市金沢区烏浜町13 TEL (045) 772-1811(代) FAX (045) 772-0011

■ 販売元